

長崎県長与町(スポーツ庁実践研究対象)

◆パターンの分類

① **多競技を抱える既存クラブ・団体(総合型地域スポーツクラブ等)**が受け皿となる形

◆本事例の概要図

<受け皿>

- ◎参加者希望者は**会員登録し、休日に活動**
- ◎会費は月額3,000円+保険代(スポーツ安全保険)



<学校部活動>

◎平日の活動は各校での通常部活動



<指導者>

◎各校部活動における外部指導員のうち、活動趣旨等の条件(※)に同意された方々
(※)勝利至上主義ではなく、楽しく活動し続けることを趣旨としている
(※)3年以内に指導者資格を取得することを条件にしている

<補足事項>

- ◎長与町教育委員会が地域移行の推進役を担い、長与スポーツクラブが運営事務を担っている。
- ◎2023年度より3校全ての部活動全12種目の休日の活動を地域移行。
- ◎学校部活動での外部指導員と、長与スポーツクラブでの指導者は、同一人物でも契約は主体団体ごとの契約で活動に従事いただいている。

<体制発足の背景>

- ◎長与スポーツクラブは長与町民により平成21年に設立され、多種目・多世代・他志向のスポーツ教室を運営しており、スポーツ機会の普及環境が整っていた。
- ◎教育委員会主導で、地域移行に関する検討委員会を発足し、方策検討を開始。
- ◎先行して卓球部の地域移行に取り組み、先行事例としての効果検証をしつつ、徐々に多種目にも拡大させ、段階的な移行から一斉に移行することを計画。

◆想定課題に対する状況

実施主体

地域移行の推進にあたり、コーディネーターの役割が非常に重要。運営事務についても基盤強化が重要で、特に経理面では税理士の導入を予定している。

責任・管理

もともと学校部活動でも、休日の保護者の見回り当番があったが、長与スポーツクラブが主体となり、教育委員会と連携を図る体制へ。

Check!

指導者

学校部活動における**外部指導員の方々が引き受けてくれている**ことに加え、**大学生ボランティアスタッフもアシスタント**してくれている。(長崎大学が束ねる長崎市および近郊の大学生が集うボランティアセンターが派遣)
また、**指導者との面談制度を取り入れるなど、フィードバックやコミュニケーションの機会を設けている。**

Check!

活動場所

3校が町内でコンパクトにまとまった位置関係にあることから、3校で活動場所を順番に回しても、移動負担は比較的少ない。

移動

試合や大会に行く際には**マイクロバスおよび運転手を1台保有しているため、譲り合いながら有効な移動手段として活用している。**

費用

令和5年度文科省予算で提示された「地域スポーツ活動」に関する委託金を期待している。それが叶わなければToToの助成や寄付、企業版ふるさと納税などの打ち手も検討している。会費の値上げは現状考えていない。

Check!

大会出場

大会のレギュレーションに合わせ、合同での出場、各学校単位の部活動として出場など、**子供たちが出場できるよう柔軟に対応する。**